

# JR東海道本線大船駅と藤沢駅間に新駅を設置することに合意

本市とJR東日本、神奈川県、藤沢市の4者は、令和3年2月8日に、JR東海道本線の大船駅と藤沢駅の間、新駅を設置することに合意したことを発表しました。新駅は、深沢と一体のまちづくりを進めている藤沢市村岡地区に設置されます。

深沢が新たな市の玄関口となることで、まちのポテンシャルが高まり、「働くまち鎌倉」、「住みたい・住み続けたいまち鎌倉」の実現に向けた、まちづくりが大きく前進します。



## 本市とJR東日本、神奈川県、藤沢市の4者の合意内容

本市とJR東日本、神奈川県、藤沢市の4者の合意に際し、取り交わした覚書の内容は以下のとおりです。

### 相互に協力した事業の実施

本市とJR東日本、神奈川県、藤沢市が、相互に協力して円滑に新駅の設置を実施する。

### 設計及び工事の施行

新駅整備の詳細設計(工事に必要な設計図書の作成等)及び工事の施行等は、JR東日本が行う。

### 事業に要する費用負担

事業に要する費用負担は、以下を基本とする。

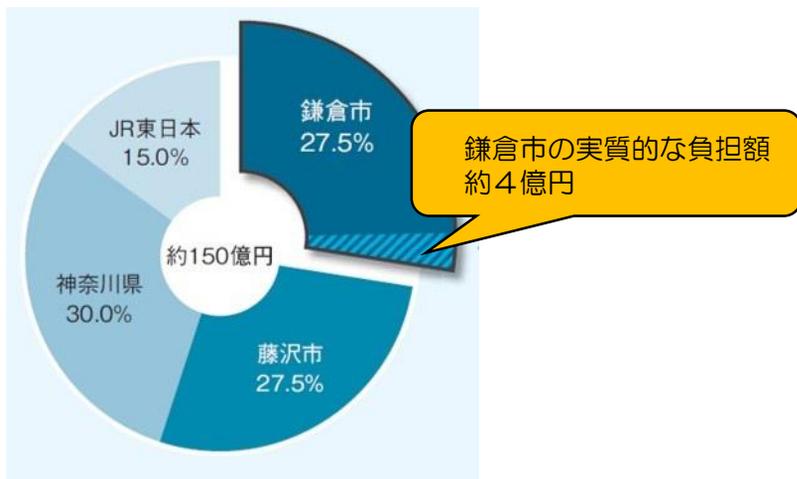
- 本市負担：費用(※)の27.5%
- JR東日本負担：費用の15.0%
- 神奈川県負担：費用の30.0%
- 藤沢市負担：費用の27.5%

※新駅整備の詳細設計及び工事の施行等に要する費用

## 新駅の設置にかかる鎌倉市の実質的な負担額は約4億円です

深沢のまちに隣接する新駅の設置費用(約150億円)は、本市とJR東日本、神奈川県、藤沢市が分担します(右図参照)。

深沢のまちづくりから生まれる資金(※)のうち、約37億円を活用することで、鎌倉市の実質的な負担額は約4億円になると試算しています。



※ 土地区画整理法に基づき、区域内の土地の一部を売却することで得られる資金。土地の利用の促進のために必要な施設などに活用することができます